

名誉会員 石田晴久博士を偲ぶ

村井 純

慶應義塾大学

2009年3月9日石田晴久先生が逝去されました。72歳でした。3月3日に心筋梗塞で倒れ、その後順調に回復されつつあった6日目の朝のことでした。

石田先生は、コンピュータとデジタルテクノロジーが人や社会に貢献することを何より楽しみにしていらして、コンピュータの社会展開に多大な貢献をされた、最初であり、第一人者であった教育研究者でした。コンピュータを、計算する機械や科学者にとっての道具と見るそれまでの視点とはまったく異なり、「面白いが、人の役に立つか、社会活動に役立つか」という視点に大変強い興味をお持ちで、そのために必要なまったく新しいことに挑戦され、実現されてこられました。

先生は東京大学理学部物理学科を1959年に卒業され、1961年に東京大学数物系研究科で修士を取得された後、アイオワ州立大学工学部電気工学科でPh.D.を取得されました。この後マサチューセッツ工科大学(MIT)で研究活動をされ、帰国後は電気通信大学助教授を経て、東京大学大型計算機センター助教授、教授を務められました。その間米国ベル研究所において、UNIXやCの開発者と出会われました。1997年に東京大学を退官された後は、多摩美術大学教授として教鞭をとられつつ、(株)アスキーやインターネット総合研究所など数々の民間企業のご指導にもあたられ、2007年4月からはインターネット上の大学として認可されたサイバー大学のIT総合学部長として活動されました。

石田先生に私が最初にお目にかかったのは、1970年代終わりに東京大学で石田先生が主催されたUNIXの研究会でした。この研究会はきわめてオープンであり、私のような私立大学の学生から、当時のOS分野の著名な研究者、さらに、たくさんの産業界の方も参加されていました。石田先生のUNIXへの興味はとても強く、それまでの科学技術計算やビジネス計算だけでなく、文書の清書機能や、文書処理の機能、そして、エンタテインメントを含む教育やゲームへの環境のふくよかな展開に大変興味を持っていらっしゃいました。

学会においては、「インターネット」の分野が新しい分

野として確立されるように努力されました。UNIXやCの発展においては、日本での発展の課題となった言語や産業・文化の問題の解決に取り組みられるとともに、その成果をもって、ベル研究所や国際学会などを通じ、世界に貢献することにご尽力されました。東京大学では全学ネットワークの構築に取り組み、ネットワークと情報処理の全学展開の必要性を全部局に説いてまわられ、実現されました。また、最近是我が国で初めて認可されたインターネット上で展開される大学であるサイバー大学の開設にご尽力されていました。

これらすべてのことが、「革新的」であり、きわめて「挑戦的」な活動であることにお気づきだと思います。石田先生を知るすべての人が、先生がやさしい方で、いつもにこやかにやわらかく物事に取り組む方だとおっしゃいます。しかし、先生とともに上記のような挑戦に多数かかわらせていただいた私は、先生の使命感と責任感に満ちた、信念に基づく不屈で大変力強い生き方が、私たち、後を進む者にとっての強固な鎧となっていたことを知っています。もちろん、歯をくいしばって進む後輩にとっては、とても優しいガーディアン・エンジェルでありました。

こうして石田先生は、情報処理の技術全般が人と社会にいかに貢献できるかということにあらゆる手段で挑戦し、実践したばかりでなく、その分野がいかに大切で、かつ、茨の道であり、私たちの深い知性と厳しい自己研鑽なくしては実現し得ないことを教えてくださいました。

現在、大学は未来の社会を担う新しい使命に向かって動き出しています。石田晴久先生が東大を中心に活躍された守備範囲は、従来の大学の役割をはるかに超え、次の世代のすべての人類への貢献を目指す、本来の大学の役割を身をもって示されたという気がします。

突然のお別れにはとまどうばかりですが、私たちはこれからも先生の遺志を継いで、人や社会に貢献する研究を続けてまいります。心からご冥福をお祈りいたします。

(平成21年3月23日)



御 略 歴

1936年10月30日	生まれ
1959年3月	東京大学理学部物理学科卒業
1961年3月	東京大学大学院数物系研究科物理学専門課程修士課程修了
1964年2月	アイオワ州立大学工学部電気工学科博士課程修了, Ph.D. 学位受領
1964年3月	MIT (マサチューセッツ工科大学) 研究員
1966年4月	電気通信大学助教授
1970年12月	東京大学大型計算機センター助教授
1975年～1976年	ベル研究所客員研究員
1982年5月	東京大学大型計算機センター教授 (兼任) 東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻情報科学科教授
1992年～1999年	Internet Society 副会長
1992年～1999年	日本工学アカデミー会員
1992年～1999年	ICCC (International Conference on Computer Communications) 理事
1993年～1997年	日本インターネット協会会長
1995年～1997年	総務庁・青少年問題審議会委員
1996年～2003年	郵政省地域マルチメディア・ハイウェイ実験協議会会長
1996年～2003年	通産省コンピュータ緊急対策センター (JPCERT) センター長
1997年3月	東京大学定年退職
1997年	東京大学名誉教授
1997年～2006年	多摩美術大学教授 (情報デザイン学科)
1997年～	(株) アスキー特別顧問, 常務取締役
1997年～2002年	慶應義塾大学教授
2000年～2006年	日本ネットワーク・セキュリティ協会会長
2007年～	サイバー大学 IT 総合学部長
2009年3月9日	逝去 (72歳)
1966年4月	情報処理学会入会
1982年5月～1984年5月	情報処理学会理事
1986年5月～1988年5月	情報処理学会理事
1990年5月～1992年5月	情報処理学会副会長
1997年10月～2002年3月	会誌編集長
1999年5月	情報処理学会平成10年度功績賞
2002年3月	情報処理学会平成13年度フェロー
2002年5月	情報処理学会名誉会員